



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ  
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

## 令和4年度 第2回理事会開催報告

令和4年8月12日(金)午後7時から、Web会議形式で「第2回理事会」が開催されたので、その概要をお知らせします。

### 【報告事項】

- 1 第9回定時社員総会、会員入退会状況、五段位・四段位認定会の実施状況について  
ニュースフラッシュ20号で掲載済みである。
- 2 そば打ち体験事業について  
今年度は6件の申請があり、既に予算額10万円を若干超えたので、ここで締め切りとする。
- 3 青森県階上町の視察について(8月20日~21日)  
全麵協では岩手・青森・秋田の3県での会員拡大を考えており、10月に階上町で三段位認定会が行われる機会をとらえ、理事長以下関係者による意見交換、技術指導、段位認定会の開催方法等について協議を行う予定である。
- 4 令和4年度そば道五段位認定者研修会について(9月3日~4日)  
長野県塩尻市において、令和3年度五段位認定者を対象として、全麵協の中心となって活動するための心構えやそば打ち技術の向上、また全国各地の仲間との情報交換等を目的として開催する。

<報告事項は全員了承>

### 【議事】

- 1 新年度役員と組織、全麵協設立30周年記念事業について  
ニュースフラッシュ20号に掲載済みである。
- 2 コンプライアンス部門の設置について  
(赤羽専務理事)  
コンプライアンス意識を確立するために、板倉副理事長をトップに4~5名の委員会を設置したい。
- 3 令和4年度事業推進について  
(赤羽専務理事)  
理事間での情報共有と意見交換をスムーズに行い、併せて会員の意見を反映した事業推進にあたる。事務局では稟議書、合議制をもって事務処理にあたる。

- 4 令和4年度予算執行について  
(萩原経理部長)  
予算執行については、単に収支状況で判断するのではなく、会費収入や事業収入に見合った支出のあり方や受益者負担的な考え方を取り入れ、予算額に縛られることなく弾力的な運用に心掛けたい。
- 5 国内旅費規程改正等について  
(横田総務部長)  
旅行移動日の日当の支給等について説明
- 6 五段位筆記試験の受験料徴収について  
(土屋段位認定部長)  
五段位筆記試験は、この2年間各支部で開催した実績から、今後とも各支部での開催が定着していくことになる。このため経費も増加するので、受験者から受験料を徴収することが必要と思われる。よって経費の削減を図りながら、受益者負担の考え方に立って、筆記試験の受験料徴収について来年度から実施する方向で検討を継続していく。
- 7 その他  
(横田総務部長)  
令和5年度第10回定時社員総会は、令和5年6月17日(土)に如水会館で開催する予定である。

<議題について全員了承>



## 全国高校生そば打ち選手権大会開催報告



8月27日(土)に、3年ぶりに第12回全国高校生そば打ち選手権大会が麺業会館で開催致しました。新型コロナウイルス感染症は未だに収束しない為、感染予防対策を徹底して無事開催する事ができました。コロナ禍の状況の中でもあり、又会場のスペースが狭い事もあり開会式・閉会式は行わず、団体戦のみの開催でしたが、北海道から大分まで全国各地から出場した16校が4組に分かれ審査時間に合わせて来場し、審査終了次第退場する開催方法で行われました。このように制約が多い大会でしたが、出場した高校生の皆さんは、日頃の練習の成果を充分発揮し、頑張っそば打ちしている姿を見て感動いたしました。

出場された高校生・付き添いの先生にとって、大変思い出に残る大会になったと思います。

大会の結果は以下のとおりですが、詳細は日麺連のHPをご覧ください。

優勝・文部科学大臣賞 北海道幌加内高等学校  
準優勝 長野県長野吉田高等学校戸隠分校  
第3位 啓新高等学校(福井県)



## 東日本支部四段位郡山認定会を開催



令和4年度四段位認定会の先陣を切って、東日本支部郡山認定会が9月3日(土)に福島県郡山市郊外の郡山ユラックス熱海にて

開催されました。

未だ新型コロナウイルス感染が収まらない中、ガイドラインに沿って無観客での開催となりました。会場となった郡山ユラックス熱海はゆったりとして広く、認定会場内にスタッフの準備区画も設定されるなど、芳田東日本支部長のもと市川段位認定部長の的確なリードとスタッフの方々の協力により、スムーズに認定会運営がなされました。

会場には受験者の皆さんの真剣な取り組み姿勢が伝わり、あっという間に4組が終了しました。

藤間審査員長からは水回し時に手を汚さない、汚れても水回しの途中で手の汚れをこまめに落としつつ作業を行い、鉢の作業途中での手洗いは極力控えたほうが良い事。また、出来上がったそばは一連のそば打ちの作品としての評価を受けるのであるから、きちんと綺麗に生舟に入れる、等の講評を頂きました。

受験者の皆さんは普段の練習の成果を発揮すべく麺台に向き合い、結果24名の合格者が誕生しました。(本部段位認定部)



## 青森県階上町視察報告



全麺協は予てより東北地域での会員増強に腐心し、この度青森県階上町で三段位認定会（10月）が開催されるのを機会に、当町のそばによる地域振興に関する意見交換と、受験者の技術指導を兼ねて、本部役員並びに東日本支部役員及び指導者が訪問しました。

懇談会では、階上町の荒谷町長をはじめ、産業振興課参事、そば振興委員長、青森県そば研究会会長などと有意義な意見交換がなされ、とくに品種登録100年を迎えた「階上早生」の需要拡大

と、そばによる地域振興に強い決意が示されました。同時に、全麺協の支援にも熱い期待が寄せられました。

そば打ち技術研修会は、東日本支部主催により2日間にわたって開催され、土屋段位認定部長以下東日本支部の指導者の皆さんで、三段位受験を目指す28名の受講者に対して熱心な講習が行われました。

階上町の関係者からは、この研修会はとても意義のあることで、町を挙げて協力体制を組みましたと、喜びの声が聞かれました。

なお、初段位から三段位までの認定会は、10月22～23日に「階上町わっせ交流センター」で開催予定です。

地域振興部長 赤羽章司

東日本支部事務局長 工藤 勉



## 五段位認定者研修会報告

令和3年度五段位認定本審査会において合格し、新たに五段位に認定された者に対して、「そば道五段位認定者研修会」が開催されました。

- 1 期日：令和4年9月3日～4日
- 2 会場：塩尻総合文化センター、中信会館ホール
- 3 主催：一般社団法人全麺協
- 4 協力：NPO法人信州そばアカデミー
- 5 受講者数：19名
- 6 研修日程

第1日	研修項目	講師
第1講	そば打ち実演 (六段位2名)	解説：赤羽専務理事
第2講	指導実習 (10組に分散)	試技者10名
第3講	指導実習の講評	講評：井指導普及部長 土屋段位認定部長

第2日	研修項目	講師
第4講	全麺協の基本方針と組織	赤羽専務理事
第5講	みんなの力で未来を拓く	板倉副理事長

第6講	五段位認定者の覚悟	木下喜良氏 (五段位認定者)
第7講	そば粉のはなし (石臼とミクロの世界)	山本副理事長 赤羽専務理事
第8講	座談会：五段位認定者の思いと行動	座長：板倉副理事長

第1講：井敏朗六段と仲山徹六段による、そば打ち実演が行われ、1.5kg生粉打ちの見事な競演に、受講者からは感嘆の声が聞かれました。また、打ったそばは交流会にて食することができ、その美味しさに一同うなずいていました。

第2講：10名の試技者がそば打ちするところを、五段位の皆さんが技術指導しましたが、技量の異なる者の指導の難しさを実感したようです。試技者の皆さんは緊張していた様ですが、貴重なアドバイスを頂くことができました。

第3講：指導実習の結果（感想）を全員に発表していただき、それに対して各部長から講評をいただきました。

第4講：赤羽専務理事による令和4年度の全麺協の基本方針と新しい組織の紹介がありました。

第5講：板倉副理事長から研修会開催の意味と

目的や、五段位認定者に求められているものは何かを具体的に説明していただきました。

第6講：木下喜良五段位認定者より、そば打ちを「一生の習い」とする決意表明がありました。

第7講：石臼製粉の話が山本副理事長、そばのサイエンスの話が赤羽専務理事よりありました。

第8講：3組に分れて、一人ずつ三分間スピーチを行っていただきました。限られた時間の中で自分の思いを伝えるのは簡単なことではなく、メモを見ないで話すことの大切さを感じました。座長である板倉副理事長より、自分の言葉で話すと言説力が上がる、人前で話すことにチャレンジしてください等のアドバイスがありました。

今回の研修会に参加された皆さんが、今後全麵協の指導者として、地元に戻られてから大いに活躍されることを期待します。



(本部段位認定部)



## 30周年記念事業

30周年記念事業は、来年5月27日・28日に富山市の富山国際会議場で開催予定ですが、立山の観光シーズンで市内のホテルが混むことが予想されます。記念事業への参加者募集はまだですが、参加希望の方は早めの予約をお願いします。

なお、記念事業の募集定員は、300名を予定しています。

宿泊希望の方は、次のリンクを参考にしてください。

富山市の観光公式サイト「TOYAMANET」

<https://www.toyamashikankoukyukai.jp/?tid=101024>

全麵協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子

皆様からの情報提供をお待ちしています。

## イベントのお知らせ

- ・10月15～16日「地域交流フォーラムin塩尻」開催  
主催：NPO法人信州そばアカデミー  
共催：全麵協企画部 後援：中日本支部  
内容：パネルディスカッション「女性の活躍」  
女流名人大会 ガレット講習会  
参加申込：9月30日まで  
[yukarian@orion.ocn.ne.jp](mailto:yukarian@orion.ocn.ne.jp)  
赤羽宛(080-1268-2604)